

COLOR SHOT カラーショット

～説明書～



「カラーショット」はより多く写真を撮影して集めることが目的のカードゲームです。写真は6種類の色で分かれており、それぞれの色ごとにより多く撮影することが目標です。ただし撮り集めた写真は現像するまで、つまりラウンドが終わるまで確認できません。自分が何色をより多く、また何種類の色を集めたか意識しながらゲームに勝ちましょう！



写真カード 6色各7枚



ゲームの準備

- 写真カードを裏向きでシャッフルし、各プレイヤーに配ります。

5人プレイ	各7枚
3～4人プレイ	各8枚

配られた写真カードは自分だけが確認できます。余った山札は裏向きのまま横に避けておきます。

- 最初に手番を行うプレイヤーを決定します。手番は最も最近写真を撮ったプレイヤーが担当します。わからなければ任意の方法で決めて下さい。
- 最初の手番を担当するプレイヤーはカメラトークンを受け取ります。

ゲームの遊び方

カメラトークンを持っているプレイヤーから手番を開始します。手番では手札から1枚選んで場に出します。最初の手番のプレイヤーは出したカードの上にカメラトークンを置いて下さい。

次に左隣のプレイヤーが手番を行います。次のプレイヤーも同じように手札から1枚選んで出します。出せるカードに制限はありません。

2手番目以降のプレイヤーは出したカードの色によってカメラトークンが移動します。

カメラトークンの移動

- 場に同じ色のカードが出ている場合：カメラトークンは移動しません。
- 場に同じ色のカードが出ていない場合：カメラトークンが左隣のカードの上に移動します。

！カメラトークンの移動は左隣のカードです。必ずしも違う色のカードを出したプレイヤーのカード上に移動する訳ではありません。



例1) 1手番目に ■ が出されました。2手番目のプレイヤーが ■ を出したのでカメラトークンが左に移動します。

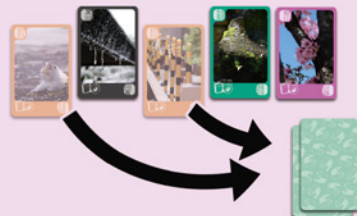


例2) 3手番目のプレイヤーが ■ を出しましたが、既に ■ のカードが出ているのでカメラトークンは移動しません。

写真を撮る

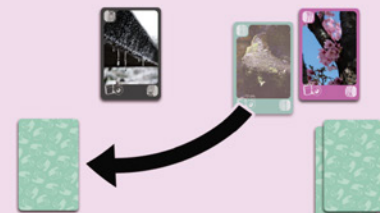
全員が手札を1枚ずつ出し終えたらそのターンで上手に写真が撮れた優秀者を確認します。

優秀者はカメラトークンが乗っているカードを出したプレイヤーになります。優秀者は、場に出されたカードの中から好きなカードを2枚選んで獲得します。



！カメラトークンは次ターンでの手番順の目安とするのでカードを獲得した後も優秀者の前に残しておきましょう。

次に優秀者の左隣のプレイヤーから順に残ったカードから好きな1枚を選んで獲得します。最後のプレイヤーのみ、そのターンではカードを獲得できません。



獲得したカードはあなたが撮影した写真です。写真は自分の前に必ず裏向きにして重ねておきます。ゲームを進めて複数獲得した写真をもとめて重ねます。

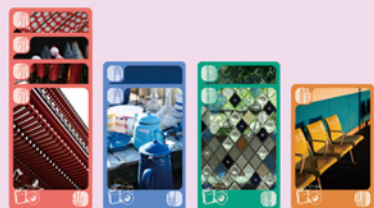
！既に獲得したカードを改めて確認することはできません。フィルムカメラなので撮った写真が見れるのはラウンド終了時に現像した時になります。

カードを獲得し終えたら残った手札を使って次のターンを開始します。次のターンは前ターンで優秀者選ばれたプレイヤーから手番を開始します。

写真を現像する（ラウンドの終了）

手札を全て使い切ったら写真を現像します。裏向きにしていた撮った写真を表向きにし、色別に分けて並べましょう。

各プレイヤーの獲得点数は集めた「一番多い同色の枚数」×「色の種類の数」になります。各プレイヤーの獲得点数はメモ帳などにメモしておいてください。



例) ラウンドが終了し、プレイヤーAは撮った写真を開きました。■ が4枚、■ が2枚、■ が2枚、■ が1枚ありました。■ が一番多かったの4枚×4種類で合計16点を獲得しました。

2ラウンド目の準備

各プレイヤーが獲得した点数をメモし終えたら、余りで避けていた写真カードを含めてすべてのカードを改めてシャッフルします。各プレイヤーに手札を配って次のラウンドの準備をします。

手番は前のラウンドの最後に優秀者になったプレイヤーから初めます。

ゲームの終わり

2ラウンド目が終了したらゲームが終了します。各プレイヤーは獲得点数を合計し、最も点数が高かったプレイヤーが勝者となります。

